



2007年9月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

2007年1月30日

会社名 : 株式会社エムティ - アイ (JASDAQ・コード番号 9438)
 (URL http://www.mti.co.jp)

代表者 : 代表取締役社長
 前多 俊宏

問い合わせ責任者 : 経営企画室長
 松本 博
 TEL (03) 5333 - 6323

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 法人税等の計上方法は、法定実効税率ベースとした年間予測税率により計算しています。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結および持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結(新規) — 社 (除外) 1社 持分法(新規) — 社 (除外) — 社

2. 2007年9月期 第1四半期財務・業績の概況 (2006年10月1日~2006年12月31日)

(注) 本四半期財務・業績の概況の数値は、未監査です。

(1) 連結経営成績の進捗状況

(単位: 百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2007年9月期第1四半期	4,323	(6.4)	117	(—)	135	(—)
2006年9月期第1四半期	4,063	(24.7)	94	(—)	103	(—)
(参考) 2006年9月期	17,443		902		839	

	四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	自己資本 四半期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
2007年9月期第1四半期	667	(775.5)	8,524.23	8,479.23	11.2	1.4	3.1
2006年9月期第1四半期	76	(—)	946.61	924.07	1.3	1.1	2.6
(参考) 2006年9月期	884		10,986.63	10,789.08	14.8	8.7	4.8

(注) 1. 期中平均株式数 2007年9月期第1四半期 78,283.49株 2006年9月期第1四半期 80,523.14株 2006年9月期 80,502.05株
 2. 売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益におけるパーセント表示は、前年同期増減率を表しています。

【連結経営成績の進捗状況に関する定性的情報等】

2007年9月期 第1四半期の概況 (2006年10月1日～2006年12月31日)

当社グループは、「売上高の高成長と継続的な利益の積み上げ」を実現するため、「独自のデータ解析技術により、新たな顧客獲得の事業モデルを創出する」というグループの共有する強み(ノウハウ)を基に、主力事業であるコンテンツ配信事業のさらなる拡大と今後の成長が期待できる自社メディア型広告事業を高成長軌道に乗せることに注力しています。

コンテンツ配信事業においては、第3世代携帯電話端末の普及に対応して市場の拡大が続いている着うた[®]、そして第3.5世代携帯電話端末が普及・拡大の兆しを見せていることに対応して市場が拡大しつつある着うたフル[®]の有料会員数の拡大を図るべく、TV広告やバナー広告を中心とするプロモーション展開を積極的に行いました。

これらの結果、着うた[®]、着うたフル[®]を中心に有料会員数が拡大する一方、市場が縮小傾向にある着メロについても有料会員数を微減で止めることができたため、携帯電話販売事業およびテレマーケティング事業の譲渡による減収分(約867百万円)をカバーし、売上高は4,323百万円(前年同期比6.4%増)の増収となりました。

また、粗利率の高いコンテンツ配信事業が大幅に拡大したことに伴い、売上総利益も大幅な増益となりましたが、着うた[®]、着うたフル[®]向けのプロモーション費用に加え、自社メディア型広告事業の立ち上げに向けた先行的費用投資としてプロモーション費用を積極投入したため、営業利益・経常利益については赤字となりました。

なお、2006年11月1日付で連結子会社のテレマーケティングによる医療保険販売事業を譲渡したこと、そして2006年12月18日付で連結子会社の携帯電話販売事業を譲渡したことに伴い、関係会社株式売却益が780百万円発生したため、当四半期純利益は、667百万円(前年同期比775.5%増)となり、前年同期を大幅に上回りました。

連結業績

(単位:百万円)

	2007年9月期 第1四半期	2006年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
売上高	4,323	4,063	260	6.4%
売上総利益	2,920	2,614	305	11.7%
営業利益	117	94	212	-
経常利益	135	103	238	-
四半期純利益	667	76	591	775.5%

(注)記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

セグメント別の概況

セグメント別の概況は、次のとおりです。

2007年9月期からの変更点としては、以下のとおりです。

- A. 携帯電話販売事業の分類は、2006年9月1日付で当社の当該事業を譲渡したため、廃止しました。
- B. テレマーケティング事業の分類も、2006年11月1日付で連結子会社の株式会社TM(同日付で株式会社ITSUMOから商号変更)の当該事業を譲渡したため、廃止しました。
- C. コンテンツ配信事業を、公式サイト向けモバイル・コンテンツ配信事業を行う「コンテンツ配信事業」と、一般サイト向けモバイル・コンテンツ配信事業を行う「自社メディア型広告事業」の2つに細分しました。

コンテンツ配信事業

第3世代携帯電話端末向けの主要サービスの1つである着うた[®]については、『music.jp』サイトの認知度向上を狙ったプロモーション展開および人気楽曲の獲得に注力するとともに、洋楽分野で4大メジャー・レコード会社からの楽曲調達による品揃えの拡充を図ることにより、有料会員数の拡大に取り組みました。

また、第3.5世代携帯電話端末向けの主要サービスの1つと目される着うたフル[®]については、その端末が普及・拡大の兆しを見せていることから、着うたフル[®]市場が急速に立ち上がっていくことが見込まれるため、着うた[®]と連動した積極的なプロモーション展開と主要レコード会社からの楽曲調達による品揃えの拡充を図り、有料会員数の拡大とメニュー順位アップに取り組みました。

市場が縮小傾向にある着メロについては、着うた[®]、着うたフル[®]と同じ『music.jp』ブランドを活かしたプロモーション展開や、様々なキャンペーン企画の実施、品質（音質）の維持・向上等により、有料会員数の減少を最小限に食い止めることに取り組みました。

天気予報・交通情報・地図等の生活情報系コンテンツについては、3キャリアすべてのメニュー順位で上位安定を継続すべく、ユーザーニーズをきめ細かく掘り下げると同時に、最新技術を付加することによりコンテンツの魅力向上に取り組みました。

今後の成長が期待できるコミックについては、品揃えを拡充することが急務であることから、出版社からのコミック配信権獲得に取り組みました。また、デコレーションメール（1）用の素材を提供する無料サイト『デコとも』の登録会員数が急拡大している動きを捉え、有料版である公式サイトで有料会員数の拡大に取り組みました。

これらの結果、2006年12月末の有料会員数は471万人（同年9月末比30万人増）まで拡大し、売上高は3,931百万円（前年同期比33.3%増）、営業利益は291百万円（前年同期比288.1%増）となりました。

- （1）メールにアニメーション画像を入れたり、背景の色や文字の大きさを変えてメールを自由にデコレーション（装飾）できるサービスです。

自社メディア型広告事業

2006年4月よりスタートした『デコとも』の登録会員数は、2006年9月末で100万人に達していたので、そのメディア媒体としての量的価値をさらに高めるため、『デコとも』サイトの認知度向上を狙ったプロモーション展開を積極的に行い、登録会員数の拡大に取り組みました。

また、会員の活性度を高め、メディア媒体としての質的価値を高めるため、素材の品揃えを強化するとともに、占いコーナーや懸賞コーナー等の設置によるエンターテインメント性の向上による会員の定着に努め、『デコとも』サイトの魅力向上に取り組みました。

同時に、『デコとも』の登録会員数の増加に合わせて広告枠を販売するための体制作りも重点課題として取り組み、従来から取引のあるモバイル向け広告代理店との取引拡大に努めるとともに、ナショナルクライアント（2）の獲得に向け大手広告代理店との関係構築に着手しました。

これらの結果、2006年12月末の『デコとも』の登録会員数は198万人まで拡大し、広告取扱高も登録会員数に比例して拡大したことにより、当事業の売上高は155百万円となりました。しかしながら、『デコとも』のメディア価値向上を目的としてプロモーション費用を積極投入したため、営業損失は353百万円となりました。

- （2）製品を全国的に販売するナショナルブランドを持ち、テレビ、新聞、雑誌等のマス媒体に対して広告や販売促進等の活動を積極的に展開する広告主

その他事業

パソコンや家電製品等のリユース事業と、2006年9月期まで携帯電話販売事業およびテレマーケティング事業に分類されていた事業で今期に計上される分とで構成されるその他事業は、売上高は236百万円、営業損失は48百万円となりました。

セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

	2007年9月期 第1四半期		2006年9月期 第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
コンテンツ配信	3,931	90.9%	2,949	72.6%	982	33.3%
自社メディア型広告	155	3.6%	-	-	155	-
携帯電話販売	-	-	707	17.4%	707	100.0%
テレマーケティング	-	-	344	8.5%	344	100.0%
その他	236	5.5%	62	1.5%	174	278.2%
連結合計	4,323	100.0%	4,063	100.0%	260	6.4%

(注)記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

	2007年9月期 第1四半期		2006年9月期 第1四半期		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
コンテンツ配信	291	7.4%	74	2.5%	216	288.1%
自社メディア型広告	353	227.3%	-	-	353	-
携帯電話販売	-	-	42	6.0%	42	100.0%
テレマーケティング	-	-	17	5.1%	17	-
その他	48	20.3%	0	0.1%	48	-
連結合計	117	2.7%	94	2.3%	212	-

(注)記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

上記の表における営業利益連結合計額には、消去又は全社の数値(2007年9月期第1四半期 7百万円、2006年9月期第1四半期 5百万円)を含んでいます。

(2) 連結財政状態の変動状況

(単位：百万円未満切捨表示)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2007年9月期第1四半期	8,751	5,586	63.8	77,572.03
2006年9月期第1四半期	9,181	5,729	62.4	71,117.76
(参考)2006年9月期	9,930	6,313	63.6	78,729.89

(注) 期末発行済株式数 2007年9月期第1四半期 72,017.20株 2006年9月期第1四半期 80,568.10株 2006年9月期 80,188.20株
(自己株式を除く)

期末自己株式数 2007年9月期第1四半期 12,135.71株 2006年9月期第1四半期 3,272.81株 2006年9月期 3,929.71株

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円未満切捨表示)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2007年9月期第1四半期	714	781	1,389	1,228
2006年9月期第1四半期	106	50	272	2,605
(参考)2006年9月期	790	77	1,196	2,550

【連結財政状態の変動状況に関する定性的情報等】

当四半期末の現金及び現金同等物の残高は、2006年9月期末対比1,321百万円減少の1,228百万円となりました。

当四半期における各キャッシュ・フローの状況および要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期は、税金等調整前第1四半期純利益655百万円が計上されましたが、関係会社株式売却益780百万円の控除や法人等の支払額278百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは714百万円の資金流出(前年同期は106百万円の資金流出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期は、コンテンツ配信事業にかかるソフトウェア資産の取得による支出等がありましたが、子会社の売却による収入944百万円により、投資活動によるキャッシュ・フローは781百万円の資金流入(前年同期は50百万円の資金流出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期は、自己株式の取得1,311百万円および配当金の支払い80百万円により、財務活動によるキャッシュ・フローは1,389百万円の資金流出(前年同期は272百万円の資金流出)となりました。

3. 2007年9月期の見通し（2006年10月1日～2007年9月30日）

当社グループは、携帯電話販売事業とテレマーケティング事業の2つの事業から撤退することにより、モバイル・サービス事業に集中特化して事業を推進していく体制が整いました。これにより、モバイル・サービスの新しい市場の拡大機会を的確に捉え、2007年9月期の通期業績予想の達成を目指します。

音楽系コンテンツ配信事業については、第3世代携帯電話端末の普及が進んでいること、そして同時並行的に第3.5世代携帯電話端末が普及・拡大の兆しをみせていることから、引き続き、着うた[®]の有料会員数を拡大させるとともに、着うたフル[®]の有料会員数を拡大させる好機と捉え、人気楽曲の獲得とプロモーション展開を積極的に取り組んでいきます。

同時に、総合音楽配信サイトとしてトップクラスの地位を確立し、『music.jp』ブランドの価値をさらに向上させるために、J-POP（3）だけでなく、洋楽やインディーズをはじめとして幅広い分野での積極的な取り組みを継続することにより、幅広い音楽ファンに支持されるサイトの構築を目指します。

一方、当社グループの収益を生み出す源泉である着メロについては、様々なキャンペーン企画の実施や品質（音質）の維持・向上等を通じて付加価値の高いサービスを提供することにより、市場が急激に縮小していく現状においても有料会員数の維持を目指し、利益を確保していきます。

（3）日本の歌謡曲のうち、比較的若い世代に好まれる音楽の総称です。一般的には、演歌以外の歌謡曲がおおむねJ-POPに分類されます。

生活情報系コンテンツについては、引き続きユーザーニーズの変化や最新技術の潮流を捉えながら、魅力的で品質の高いコンテンツの開発に取り組んでいきます。近い将来、第3世代以上の携帯電話端末にGPSが標準搭載されるとみられることから、GPS機能を道路交通情報や地図等のコンテンツと連動させたサービスを開発し、ユーザーにとってより便利で魅力あるコンテンツを提供していく予定です。

コミック配信事業については、コミック出版の市場が5,000億円程度あり、そのうちの一定割合が電子化することが見込まれるため、コミック配信事業を将来有望な事業であると捉えていますが、その市場の立ち上がりは音楽系コンテンツに比べて緩やかになるものとみられます。よって、今期は先行投資期間と位置付け、人気コミック作品の獲得と販売促進を中心として先行的費用投資を行うことにより、市場でトップクラスのポジションを獲得していくことに注力します。

自社メディア型広告事業については、『デコとも』の登録会員数は既に200万人を突破し、メディア媒体としての価値が高まっています。継続的に広告出稿を行うクライアント（広告主）が増えており、また、ナショナルクライアントと呼ばれる大手企業からの広告出稿も増加してきています。『デコとも』の登録会員数のさらなる拡大、メディア媒体としての価値のさらなる向上を目指し、サイトの魅力度向上とともに積極的なプロモーション展開を図っていきます。

また、『デコとも』に続くメディア媒体として価値があり、広告主に対して新しい広告メニューを提供できる一般サイトを複数立ち上げることで、同時に、ナショナルクライアントの獲得に向けた大手広告代理店との取引拡大等の販売力強化を推進することに取り組んでいきます。したがって、当面先行的投資負担が発生しますが、コンテンツ配信事業に次ぐ事業の柱となるよう、積極果敢に業容拡大を図っていきます。

なお、2006年11月7日に発表しました2007年9月期中間期業績予想については、本日発表しました「2007年9月期中間期業績予想修正に関するお知らせ」のとおり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに上方修正しました。

2007年9月期の中間期業績予想
(2006年10月1日～2007年3月31日)

連結		
売上高	8,700百万円	(前期比 2.2%増加)
営業利益	130百万円	(前期比 -)
経常利益	170百万円	(前期比 -)
当期純利益	150百万円	(前期比 55.7%減少)

単体		
売上高	8,440百万円	(前期比 37.0%増加)
営業利益	50百万円	(前期比 -)
経常利益	60百万円	(前期比 -)
当期純利益	200百万円	(前期比 -)

2007年9月期の通期業績予想
(2006年10月1日～2007年9月30日)

連結		
売上高	18,200百万円	(前期比 4.3%増加)
営業利益	1,000百万円	(前期比 10.8%増加)
経常利益	930百万円	(前期比 10.7%増加)
当期純利益	930百万円	(前期比 5.2%増加)

単体		
売上高	18,000百万円	(前期比 27.2%増加)
営業利益	1,200百万円	(前期比 78.1%増加)
経常利益	1,200百万円	(前期比 77.5%増加)
当期純利益	730百万円	(前期比 50.2%増加)

<見通しに関する留意事項>

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的风险等、さまざまな要因により、実際の業績は見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。



【お問い合わせ先】

株式会社 エムティーアイ 経営企画室 (松本・橋迫)

Tel : 03-5333-6323

Fax : 03-3320-0189

E-mail: ir@mti.co.jp

URL: <http://www.mti.co.jp>

4. 四半期連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

区分	前第1四半期末 (2005年12月31日現在)		当第1四半期末 (2006年12月31日現在)		増減		(参考) 2006年9月期末
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)							
流動資産							
1 現金及び預金	2,635,148		1,238,636		1,396,511		2,560,446
2 売掛金	3,796,838		4,258,251		461,412		4,119,430
3 有価証券	200,000				200,000		
4 たな卸資産	148,100		8,157		139,942		23,979
5 繰延税金資産	73,210		334,641		261,430		286,725
6 その他	393,239		866,140		472,901		767,624
貸倒引当金	226,920		278,018		51,097		209,693
流動資産合計	7,019,615	76.5	6,427,808	73.5	591,806	8.4	7,548,512
固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物附属設備	117,098		124,353		7,255		104,176
(2) 工具器具及び備品	54,277		41,911		12,366		41,458
有形固定資産合計	171,376	1.9	166,265	1.9	5,110	3.0	145,635
2 無形固定資産							
(1) ソフトウェア	347,125		424,028		76,903		401,921
(2) その他	12,997		9,668		3,329		11,609
無形固定資産合計	360,123	3.9	433,697	5.0	73,574	20.4	413,531
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券	985,258		1,109,426		124,168		1,163,692
(2) 繰延税金資産	185,978		241,319		55,341		238,018
(3) その他	463,865		377,528		86,336		426,526
貸倒引当金	7,551		4,931		2,620		4,931
投資その他の資産合計	1,627,550	17.7	1,723,343	19.6	95,792	5.9	1,823,307
固定資産合計	2,159,049	23.5	2,323,305	26.5	164,255	7.6	2,382,473
繰延資産							
1 社債発行費	3,125				3,125		
繰延資産合計	3,125	0.0			3,125		
資産合計	9,181,791	100.0	8,751,114	100.0	430,676	4.7	9,930,986

区分	前第1四半期末 (2005年12月31日現在)		当第1四半期末 (2006年12月31日現在)		増減		(参考) 2006年9月期末
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(負債の部)							
流動負債							
1 買掛金	1,451,457		1,439,349		12,107		1,309,317
2 短期借入金	300,000		—		300,000		
3 1年内償還予定社債	400,000		100,000		300,000		100,000
4 未払金	684,909		1,007,523		322,613		1,124,402
5 未払法人税等	13,744		63,667		49,922		296,442
6 その他	222,415		193,924		28,491		420,013
流動負債合計	3,072,527	33.5	2,804,464	32.1	268,063	8.7	3,250,176
固定負債							
1 社債	250,000		150,000		100,000		150,000
2 負ののれん			120,322		120,322		122,602
3 連結調整勘定	129,440				129,440		
4 その他			89,807		89,807		95,000
固定負債合計	379,440	4.1	360,129	4.1	19,310	5.1	367,602
負債合計	3,451,968	37.6	3,164,594	36.2	287,374	8.3	3,617,778
(資本の部)							
資本金	2,454,643	26.7					
資本剰余金	4,664,823	50.8					
利益剰余金	868,805	9.5					
その他有価証券 評価差額金	721	0.0					
自己株式	521,560	5.7					
資本合計	5,729,822	62.4					
負債・資本合計	9,181,791	100.0					
(純資産の部)							
株主資本							
1 資本金			2,470,981	28.2			2,469,593
2 資本剰余金			4,681,162	53.5			4,679,774
3 利益剰余金			526,535	6.0			60,582
4 自己株式			2,087,611	23.8			775,906
株主資本合計			5,591,068	63.9			6,312,878
評価・換算差額等							
1 その他有価証券 評価差額金			4,547				329
評価・換算差額等合計			4,547	0.1			329
純資産合計			5,586,520	63.8			6,313,208
負債・純資産合計			8,751,114	100.0			9,930,986

(2) 連結損益計算書

区分	前第1四半期 (自 2005年10月1日 至 2005年12月31日)		当第1四半期 (自 2006年10月1日 至 2006年12月31日)		増減		(参考) 2006年9月期
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
売上高	4,063,513	100.0	4,323,634	100.0	260,120	6.4	17,443,794
売上原価	1,448,978	35.7	1,403,470	32.5	45,507	3.1	6,090,669
売上総利益	2,614,535	64.3	2,920,163	67.5	305,628	11.7	11,353,124
販売費及び一般管理費	2,519,920	62.0	3,037,773	70.2	517,852	20.6	10,450,884
営業利益	94,614	2.3	117,609	2.7	212,224	—	902,239
営業外収益	15,125	0.4	3,718	0.1	11,406	75.4	25,491
営業外費用	5,970	0.1	21,284	0.5	15,313	256.5	87,917
経常利益	103,769	2.6	135,175	3.1	238,945	—	839,814
特別利益	119	0.0	793,255	18.3	793,136	—	410,906
特別損失	19,009	0.5	2,828	0.0	16,180	85.1	212,893
税金等調整前 第1四半期純利益	84,880	2.1	655,251	15.2	570,371	672.0	1,037,827
法人税、住民税及び 事業税	14,014	0.3	35,861	0.8	21,847	155.9	417,003
過年度法人税等							11,460
法人税等調整額	5,358	0.1	47,915	1.0	42,557		275,082
第1四半期純利益	76,224	1.9	667,306	15.4	591,082	775.5	884,446

(3) 連結剰余金計算書

	前第1四半期 (自 2005年10月1日 至 2005年12月31日)
区分	金額(千円)
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	4,662,074
資本剰余金増加高	2,749
増資による新株式の発行	2,749
転換社債の転換による 新株式の発行	—
資本剰余金期末残高	4,664,823
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	917,658
利益剰余金増加高	76,224
第1四半期純利益	76,224
利益剰余金減少高	27,370
第1四半期純損失	—
配当金	27,370
利益剰余金期末残高	868,805

(注) 前第1四半期(自 2005年10月1日 至 2005年12月31日)については、改正前の連結財務諸表規則を適用しています。

(4) 連結株主資本等変動計算書

当第1四半期（自 2006年10月1日 至 2006年12月31日）

項目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2006年9月30日残高（千円）	2,469,593	4,679,774	60,582	775,906	6,312,878
当四半期中の変動額					
新株の発行	1,388	1,388			2,776
剰余金の配当			80,188		80,188
第1四半期純利益			667,306		667,306
自己株式の取得				1,311,705	1,311,705
株主資本以外の項目の 四半期変動額（純額）					—
当四半期中の変動額合計（千円）	1,388	1,388	587,118	1,311,705	721,810
2006年12月31日残高（千円）	2,470,981	4,681,162	526,535	2,087,611	5,591,068

項目	評価・換算 差額等	純資産合計
2006年9月30日残高（千円）	329	6,313,208
当四半期中の変動額		
新株の発行		2,776
剰余金の配当		80,188
第1四半期純利益		667,306
自己株式の取得		1,311,705
株主資本以外の項目の 四半期変動額（純額）	4,877	4,877
当四半期中の変動額合計（千円）	4,877	726,687
2006年12月31日残高（千円）	4,547	5,586,520

(参考) 2006年9月期(自 2005年10月1日 至 2006年9月30日)

項目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2005年9月30日残高(千円)	2,451,894	4,662,074	917,658	521,333	5,674,976
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	17,699	17,699			35,398
剰余金の配当			27,370		27,370
当期純利益			884,446		884,446
自己株式の取得				254,573	254,573
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					—
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	17,699	17,699	857,076	254,573	637,901
2006年9月30日残高(千円)	2,469,593	4,679,774	60,582	775,906	6,312,878

項目	評価・換算 差額等	純資産合計
2005年9月30日残高(千円)	881	5,675,857
連結会計年度中の変動額		
新株の発行		35,398
剰余金の配当		27,370
当期純利益		884,446
自己株式の取得		254,573
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	551	551
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	551	637,350
2006年9月30日残高(千円)	329	6,313,208

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期 (自 2005年10月1日 至 2005年12月31日)	当第1四半期 (自 2006年10月1日 至 2006年12月31日)	(参考) 2006年9月期
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
営業活動による キャッシュ・フロー			
1 税金等調整前第1四半期純利益	84,880	655,251	1,037,827
2 減価償却費	107,422	105,474	423,086
3 貸倒引当金	55,084	68,324	176,124
4 受取利息及び受取配当金	1,139	612	6,716
5 支払利息	3,797	3,060	18,116
6 持分法投資損益	10,116	13,443	58,153
7 関係会社株式売却益	—	780,234	346,769
8 売上債権の増減額	282,658	219,883	746,138
9 たな卸資産の増減額	35,002	15,757	28,504
10 仕入債務の増減額	36,152	130,032	105,987
11 未払金の増減額	259,603	116,879	699,096
12 その他	46,214	306,715	1,403
小計	171,807	432,979	1,233,892
13 利息及び配当金の受取額	895	612	8,773
14 利息の支払額	740	3,060	10,625
15 法人税等の支払額	278,003	278,837	510,141
16 法人税等の還付による収入	—	—	68,592
営業活動による キャッシュ・フロー	106,041	714,265	790,492
投資活動による キャッシュ・フロー			
1 定期預金の払戻による収入	20,000	—	40,000
2 有形固定資産の取得による支出	—	53,879	46,680
3 無形固定資産の取得による支出	64,760	126,341	408,769
4 投資有価証券の取得による支出	8,000	—	495,522
5 投資有価証券の売却による収入	—	45,400	1,824
6 関係会社株式の売却による収入	—	944,079	494,388
7 事業譲渡による収入	—	51,147	—
8 その他	2,533	78,917	337,742
投資活動による キャッシュ・フロー	50,226	781,487	77,017
財務活動による キャッシュ・フロー			
1 短期借入金の増減額	250,000	—	550,000
2 自己株式の取得による支出	—	1,311,705	254,573
3 配当金の支払額	27,370	80,188	27,370
4 その他	5,270	2,860	364,601
財務活動による キャッシュ・フロー	272,099	1,389,032	1,196,544
現金及び現金同等物の増減額	428,367	1,321,809	483,069
現金及び現金同等物の期首残高	3,033,515	2,550,446	3,033,515
現金及び現金同等物の 第1四半期末残高	2,605,148	1,228,636	2,550,446

5. セグメント情報

2007年9月期 第1四半期（2006年10月1日～2006年12月31日）

	コンテンツ 配信事業 （千円）	自社メディア 型広告事業 （千円）	その他の 事業 （千円）	計 （千円）	消去又は 全社 （千円）	連結 （千円）
売上高及び営業損益						
1 売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	3,931,589	155,469	236,575	4,323,634	—	4,323,634
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	69	—	—	69	69	—
計	3,931,658	155,469	236,575	4,323,703	69	4,323,634
2 営業費用	3,640,582	508,896	284,709	4,434,187	7,056	4,441,244
3 営業利益	291,076	353,427	48,133	110,484	7,125	117,609

(注) 事業の区分の方法および各区分に属する主要なサービスおよび製品の名称

1 事業区分の方法……………製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して区分しています。

2 各事業区分に属する主要な製品等の名称は下記のとおりです。

コンテンツ配信事業……………モバイル・コンテンツ配信（公式サイト運営） ネットワーク音楽配信等

自社メディア型広告事業……モバイル・コンテンツ配信（一般サイト運営）

その他の事業……………リユース商品の仕入および販売等

3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は7,125千円、その主なものは、管理部門における減価償却費です。

(事業区分の変更)

当社グループでは、携帯電話販売事業とテレマーケティング事業の2つの事業から撤退することにより、モバイル・サービス事業に特化して事業を推進していく体制が整いました。

従来、事業区分につきましては「コンテンツ配信事業」、「携帯電話販売事業」、「テレマーケティング事業」、「その他の事業」の4事業区分としていましたが、「コンテンツ配信事業」に含まれていた自社メディア型広告事業の業容拡大により、同事業の重要性が増しており今後もこの傾向が予想されるため、「コンテンツ配信事業」から「自社メディア型広告事業」として独立させるとともに、事業から撤退した「携帯電話販売事業」、「テレマーケティング事業」の分類を廃止し、当第1四半期より「コンテンツ配信事業」、「自社メディア型広告事業」、「その他の事業」の3事業区分に変更いたしました。

なお、前連結会計年度の事業区分によった場合の当第1四半期の事業の種類別セグメント情報は次のとおりです。

2007年9月期 第1四半期（2006年10月1日～2006年12月31日）

	コンテンツ 配信事業 （千円）	携帯電話 販売事業 （千円）	テレマーケ ティング事業 （千円）	その他の 事業 （千円）	計 （千円）	消去又は 全社 （千円）	連結 （千円）
売上高及び営業損益							
1 売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	4,087,058	103,852	80,453	52,269	4,323,634	—	4,323,634
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	69	—	—	—	69	69	—
計	4,087,127	103,852	80,453	52,269	4,323,703	69	4,323,634
2 営業費用	4,149,478	110,099	111,620	62,988	4,434,187	7,056	4,441,244
3 営業利益	62,350	6,247	31,167	10,719	110,484	7,125	117,609

2006年9月期 第1四半期（2005年10月1日～2005年12月31日）

	コンテンツ 配信事業 (千円)	携帯電話 販売事業 (千円)	テレマーケ ティング事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益							
1 売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	2,949,205	707,371	344,389	62,547	4,063,513	—	4,063,513
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	58	40	—	1,077	1,175	1,175	—
計	2,949,264	707,411	344,389	63,624	4,064,689	1,175	4,063,513
2 営業費用	2,874,271	665,063	361,814	63,699	3,964,850	4,048	3,968,898
3 営業利益	74,992	42,347	17,425	75	99,838	5,224	94,614

(注) 事業の区分の方法および各区分に属する主要なサービスおよび製品の名称

1 事業区分の方法……………製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して区分しています。

2 各事業区分に属する主要な製品等の名称は下記のとおりです。

コンテンツ配信事業……………モバイル・コンテンツ配信、ネットワーク音楽配信、等

携帯電話販売事業……………携帯電話の販売、等

テレマーケティング事業……テレマーケティングによる医療保険販売、等

その他の事業……………リユース商品の仕入および販売、等

3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は5,224千円、その主なものは、管理部門における減価償却費です。

2006年9月期（2005年10月1日～2006年9月30日）

	コンテンツ 配信事業 (千円)	携帯電話 販売事業 (千円)	テレマーケ ティング事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益							
1 売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	13,593,776	2,214,635	1,336,925	298,457	17,443,794	—	17,443,794
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	249	140	—	1,103	1,492	1,492	—
計	13,594,025	2,214,775	1,336,925	299,560	17,445,286	1,492	17,443,794
2 営業費用	12,538,647	2,132,704	1,533,894	316,681	16,521,927	19,626	16,541,554
3 営業利益	1,055,378	82,070	196,969	17,120	923,358	21,118	902,239

(注) 事業の区分の方法および各区分に属する主要なサービスおよび製品の名称

1 事業区分の方法……………製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して区分しています。

2 各事業区分に属する主要な製品等の名称は下記のとおりです。

コンテンツ配信事業……………モバイル・コンテンツ配信、ネットワーク音楽配信、等

携帯電話販売事業……………携帯電話の販売、等

テレマーケティング事業……テレマーケティングによる医療保険販売、等

その他の事業……………リユース商品の仕入および販売、等

3 携帯電話販売事業については、2006年9月1日をもって当社の当該事業を譲渡しています。

4 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は21,118千円、その主なものは、管理部門における減価償却費です。